

マキノ病院ニュース

皆様に必要とされる
医療と介護をめざして

会長 笠松 美咲

猛暑厳しき折、いかがお過ごしのことでしょうか。

お陰様で、マキノ病院は地域に誕生して五〇年を迎える事が出来ました。皆様に感謝申し上げます。

さて、2000年に施行されました介護保険制度は改正を重ね、高齢者人口がピークを迎えます2025年に向けて、住み慣れた地域の中で暮らし続けることが出来るよう医療と介護を包括し、市を中心とした行政と医療関係者、介護事業所等が力を合わせる仕組み

に変わってまいりました。その中でマキノ病院も地域の中で医療と介護に向き合うべく、訪問看護や訪問リハビリテーションを推進してまいりました。

介護が必要な方が百人おられれば百通りの介護方法があるといわれますが、介護をされる方の立場に立って、在宅での介護の範囲を相談したり、患者様の病気や心身の状態、在宅での衛生面や食事に関してなど様々な問題と一緒に考えてまいりたいと考えており

ます。どのようなことでもお気軽にご相談ください。また、マキノ病院は今後も地域の医療と介護の分野に関して皆様のお役にたてますように、地域のニーズに沿った医療体制を充実させていきたいと思

ます。どのようなお声も病院運営に反映してまいりますので、厳しいご意見ご要望を頂

ます。そのためには、医療や介護を受けられる方々と医療やサービスを実施する側であるスタッフとの信頼関係が何より大切と考えております。

マキノ病院は、患者様中心の医療と福祉を実践し、患者様およびご家族の信頼と満足を得ることにより地域の皆様に安心していただける環境の創造を目指すという病院の理念

の實現に向けて邁進してまいります。



診療科のご案内
内科・外科・肛門外科・小児科・整形外科・皮膚科
神経内科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



CHOSHINKI

医療用麻薬という言葉から何を想像されるでしょうか？麻薬というからには何か恐ろしい感じがするかもしれません。しかし、いわゆる麻薬と医療用麻薬は違うものです。今回はこの「医療用麻薬」のお話をします。

覚せい剤、LSD（幻覚剤）など心身に害を与える薬物と「医療用麻薬」という患者さんの治療にとても役立つ薬とがあります。

この「医療用麻薬」は、主にがんの痛みの治療に使います。モルヒネや咳止めの中に入っているコデイン

はありません。日本では「麻薬」という言葉は、麻薬及び向精神薬取締法、大麻取締法、覚せい剤取締法、あへん法および麻薬特例法で規制される薬物のことを指します。「麻薬」には大きく分けて2通りあり、強い習慣性のあるヘロインや

ンが代表的なもので、薬としての有効性・安全性が確かめられ全世界で使用されています。鎮痛剤として使用される医療用麻薬には「止めたくても止められなくなる」ような習慣性が全く生じません。また後に詳しく述べますが、副作用について

くコントロールして、がんの痛みから解放された患者さんが増えています。「医療用麻薬」の副作用として眠気とむかつきがあります。この副作用としての眠気は「医療用麻薬」を開始して数日で自然に治ってしまいます。むかつきについても適切な薬を一緒に使うことで数日で治まります。また、副作用として便秘も起こりやすいですが、これは自然に治らないので、下剤を適切に使うことが必要です。体が動かなくなったりすることはありません。

「医療用麻薬」を使ったからといって寿命が縮まってしまうことはありません。また、「医療用麻薬」は、最後の手段ではありません。大昔は、病状が悪化して痛みが耐えられないほど強くなっ

「医療用麻薬」のお話 外科 藤田 益嗣

患者さんが「痛みで出来ないこと」を「できること」に変える薬、それが「医療用麻薬」です。